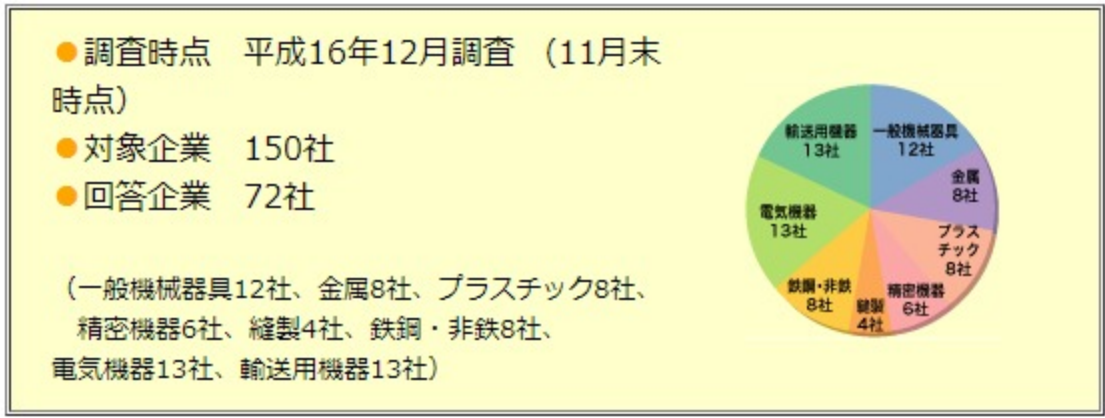


2005.11



生産高の3か月前比及び前年同月比はいずれもプラスの結果となっているが、特に前年同月比の数値は前回調査結果（9月末時点）より大幅に低下している。また、3か月先見通しは横ばい状態を保っているものの、外注見通しについてはマイナスポイントが前回調査結果よりも大きくなっており、今後の動向に不安が感じられる。

- **生産高** ここ数回の調査においてプラスの結果を残していた「電気機器」が、3か月前比・前年同月比のいずれについてもマイナスの結果となった。また、全業種で見ればプラスの結果が出ているものの、業種ごとの数値は前回調査結果より軒並みダウンしており、上昇傾向に陰りが見え始めた前回調査が加速した結果となった。
- **3か月先見通し** 生産高ではマイナスであった「精密機器」が、3か月先見通しについてはプラスとなっており、また、「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」も前回に引き続き増加の見通しとなっている。その他マイナスの結果である各業種においても、数値的には前回より改善が見られ、若干の持ち直しが期待される。
- **外注見通し** 「一般機械器具」「輸送用機器」以外の6業種は全てマイナスとなっており、上記の3か月先見通しで見られた結果とは対照的に、外注に対する厳しい見通しが顕著に表れている。

